



赤間っ子だより



2月号

令和5年1月31日
宗像市立赤間小学校 校長 早川 由洋

強き生き方に学ぶ！

病気のため、体の自由が奪われたとしたら。ましてや、年齢が10歳にも達していなかったとしたら。その現実を、子どもは、そして保護者はどう受け入れるでしょうか。人生を歩むことにどう希望を見出すのでしょうか。

先日、現役引退を表明した車いすテニスの第一人者、国枝慎吾さんは9歳の時の病が原因で下半身マヒとなりました。それまでは運動の好きな少年で野球も頑張っていたそうです。足が不自由になったことで悲観したこともあるだろうと思います。しかし、11歳の時には、母親の薦めで車いすテニスを始めました。

当時は、あまりパラスポーツが普及していたとは言えず、練習環境も決して整っていたわけではない状況下において、国枝選手はめきめきと力をつけていき、高校時代には国内から海外へと目をむけるようになっていきます。

その後の国枝選手の活躍は、皆さんもご存じのことと思いますが、全米、全英、全仏、全豪の4大大会でシングルス・ダブルスを合わせ50回も優勝しています。4大大会を制覇するグランドスラム5回、オリンピックを合わせたゴールデン Slamも達成しています。

国枝選手の活躍とともに、パラスポーツに対する認知や環境改善は進みました。一人の選手の活躍が、社会に大きな影響を与えたわけです。

国枝選手のテニス人生が順風満帆だったわけではありません。右ひじの手術を受けたこともあります。それでも、国枝選手は歩みを止めることはありませんでした。

皆さんは、国枝選手の生き方からどんなことを感じ、考えられるでしょうか。

困難に直面しても前を向く強さ。逆境を乗り越えていく強さ。自分の力を人のために役立てていく強さ。様々なプレッシャーに負けず立ち向かう強さ。

国枝選手の座右の銘は、「オレは最強」です。メンタルトレーナーから自分で鏡に向かって毎日言うように薦められ、愛用のラケットにも書いてあります。

「自分に自信をもつ」強さ。

国枝選手の生き方から感じたことを、ご家族や友だちと語り合ってみませんか。



教職員の異動及び離任式について

教職員の年度末異動については、例年、修了式後に内示が行われ、正式な異動発令は3月31日、新聞発表が翌4月1日でした。

しかし、今年度より福岡教育事務所管内（宗像，糟屋，筑紫，糸島）では、内示の時期を早める措置がとられ、3学期修了式の際には、教職員の異動が概ね判明しています。

そこで、宗像市においては、3学期修了式の際に異動が決まっている職員の離任式を併せて実施することとなりました。例年であれば、4月の始業式時に離任式・赴任式を行っていましたが、始業式の日は赴任式のみとなります。

※修了式の時点で、一部異動が確定していない職員もあります。その場合は、始業式に紙面でお伝えすることとなり、その職員の離任式は行いません。予め、ご了承ください。

・・・2月の主な行事・・・

詳細は紙面にて
お伝えしています。